

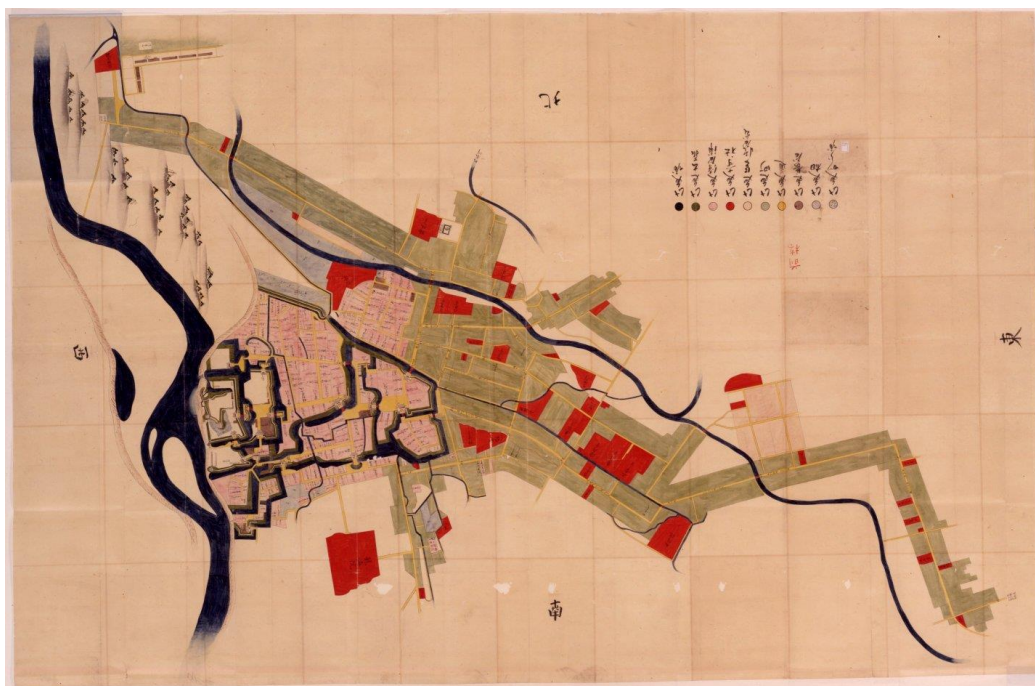
文書館だより

TEL027 (221)2346

URL <http://www.archives.pref.gunma.jp>

第58号

平成29年3月



〔前橋旧図〕（前橋城・家臣屋敷・城下町・寺院他、寛延2年力）

*縦 182.0 cm×横 278.6 cm、大型絵図につきマイクロ閲覧（群馬県行政文書A0181AMA No.1227） 国重文

平成28年10月22日より平成29年2月26日まで、当館ではテーマ展示2「前橋の城と城下町」を開催しました。上図は、群馬県庁に保管されていた明和4年（1767）に前橋藩主松平大和守家が武州川越へ移城となる以前の前橋城と城下町の姿を描いたもので、写真パネルで展示しました。

西から利根川（紺色）、城の本丸・二の丸・三の丸・高浜曲輪（三階櫓、城門、白堀、緑色の土塁、紺色の水堀、水色の空堀など）、その東・南・北側の家臣屋敷や城門・堀などが描かれた各曲輪（桃色）、その東・北側に城下町（鶯色）、源英寺・橋林寺・龍海院などの寺院や八幡宮などの神社（朱色）が色彩豊かに描かれています。各町名とその通りの長さが、道の上に記されています。三の丸から堀を隔てた東側の屋敷地には、堀中主鈴・根村豊後・渥美鯨之助など、大手門内側には小河原権八・多賀谷修理などの名前が見えます。城の北西、利根川沿い松林北側には、大渡御関所、観民稲荷（現存）、馬場、御茶屋の文字が読み取れます。江戸時代中頃の前橋城・城下町・利根川流路等を知る上で貴重な史料です。

通常は、2階閲覧室においてマイクロ閲覧で御覧いただけます。写真パネルは、閲覧室手前の通路に引き続き展示されています（平成29年7月9日迄）。

平成 28 年度テーマ展示 1

「絵で見る近代のぐんま」の開催報告

平成 28 年 7 月 23 日から 10 月 9 日まで、標記の展示を開催し、700 人を超える方々が訪れました。

今回の展示では、文字で書かれた史料だけではなく、視覚的に情報を読み取ることができる「見た目に分かりやすい絵図」に着目し、描写や色合いに工夫が施された観光案内図や明治初期の村の様子が分かる絵図を中心に展示を行いました。

なかでも、鳥瞰図(ちようかんず)と呼ばれ、上空から見下ろした視点で描かれた昭和期の観光案内図は、群馬県全体・沼田市・桐生市・伊勢崎市のそれぞれの都市の名所や史跡、交通の様子を描き、じっくりと眺めている方が多くいました。

今回展示した絵図等の史料は、当館 2 階閲覧室にてご覧いただくことができます。



時の郷土の様子を垣間見ていただき、現在の郷土の姿と比べて、「今も残っているもの」、または「今はなくなったもの」を探してみただければと思います。

平成 28 年度テーマ展示 2

「前橋の城と城下町」の開催報告

平成 28 年 10 月 22 日から平成 29 年 2 月 26 日まで、標記のテーマ展示を開催しました。江戸時代前半の天和期から明治初期にかけての前橋城、城下町、天川村などの周辺村々に関する古文書や大型絵図を前橋市立図書館の協力を得て展示しました。

玄関ロビーから展示室内にかけて御覧いただくと、前橋城、城下町、利根川流路などの変遷や人々の生活について学んでいただけるようになりました。展示項目は、①天和と明和期の絵図、②寛政と天保期の絵図と文書、③嘉永と慶応期の絵図と文書、④明治初期の絵図と文書とし、計 19 点の古文書や絵図を展示しました。

主な展示史料は、元禄期頃の前橋城、利根川が描かれた龍海院寄託「前橋城絵図」、藩主松平大和守家の武州川越移城前の前橋城、城下町、利根川などが描かれた国指定重要文化財「前橋旧図」(表紙)、文政 4 年(1821)と明治 5 年(1872)の町絵図が貼り合わされた

前橋市指定重要文化財「前橋町絵図面」、町年寄を務めた松井家・勝山家当主によって記された「御用雑日記」などです。会期中、計 1657 名の方にご覧いただきました。

開館記念日行事

「前橋の城と城下町」の開催報告

平成 28 年 10 月 29 日・同 30 日の 2 日間、標記の開館記念日行事を開催しました。今回は、① 3 階第 2・第 3 研修室で前橋町絵図面などの原本史料展示(写真)・同展示解説会、3 階第 1 研修室で元禄 15 年上野国絵図フロアマットなどの複製資料展示・同展示解説会、② 1 階



ロビー・展示室でテーマ展示 2 を同時開催しました。当日は、前橋市内在住の方々を中心に、30 歳代から 90 歳代までの幅広い年齢層の方々に「来館いただき、2 日間で計 142 名を数えました。

元禄 15 年上野国絵図フロアマットについては、「昔の地名や身近な場所が、細かな名前前で記入されていて興味深かった」、原本史料展については、「古文書の文字の美しさに感動です。昔の人の生活を少しでも感じることで、今の時代を見直す機会にしたいと思います」などのご意見・ご感想が寄せられました。

教育普及活動(ぐんま史料講座②)

平成 28 年 12 月 3 日(土)、テーマ展示 2 関連の「ぐんま史料講座②」を開催しました。講師には、川越藩の若手研究者である八王子市史編さん室近世史部会専門調査員の北村厚介氏をお迎えし、標記テーマで講演いただきました。氏は、川越への移城と前橋城の破却、川越城主時代の松平氏の藩政と前橋城再築への動き、前橋城の再築の実態等について「松平家記録」などを基に考察されました。当日は、約 100 名の聴講者があり、講演後の質疑応答も活発に行われました。



**教育普及活動（古文書入門講座・
長期講座・出前なんでも講座）**

●古文書入門講座

平成28年6月4日（土）から7月2日（土）までの毎週土曜日に、全5回にわたって古文書入門講座を開催したところ、77人が受講されました。講座では、村を越えての人の移住を、送る側と受け入れる側の宗門人別帳を突き合わせて読み解いたり、幕府への多額な納金により農民でも苗字が許されていたことが分かる文書を読んだりしました。江戸時代の出来事を身近に感じられる題材に、初めて参加した人の中に古文書ファンがまた増えたのではないのでしょうか。

●長期古文書講座

平成28年9月3日（土）から11月26日（土）までの約3か月、全12回の講座を開催したところ、85人が受講されました。中世、近世、近代と各時代ごとに専門の講師が担当しました。「中世」で

は北条氏朱印状など、「近世」では宿場の文書など、「近代」では明治初期の上野三碑の保存措置に関する文書などがテキストとなりました。テーマの選び方や講義内容からは各講師の工夫や熱意が感じられ、易しくなくても年々受講希望者が増えるのもうなずけます。

●出前なんでも講座

文書館職員が出張講座を行う本講座の平成28年度の出前回数は、昨年度と同じ9回でした。前橋、高崎、伊勢崎、館林方面から、いずれも「古文書に親しむ」のメニューを「注文いただきました。公文書管理等に関するメニューもごさいますので、当館ウェブサイトをご覧の上、新規ご注文くださいますようお願いしております。

学校連携（校外授業）

平成28年12月6日、前橋市立天川小学校3年生の内1クラス30名が、「総合的な学習の時間」の授業として文書館に来館しました。

今回の学習は、「地域を調べて発表しよう」の単元のもと、「天川小や地域の歴史、文化施設・公共施設、自然、行事等を、調べたりまとめたりしながら、母校や地域のよさを見つけよう。」ことをねらいとしたものでした。当館では、児童が学習のねらいを達成できるように協力

するため、「文書館の概要説明」、「館内見学」、「歴史学習体験活動」の三つの活動を展開しました。

最初の活動である「文書館の概要説明」では、当館の仕事や歴史資料について興味関心を持ってもらうため、江戸時代に描かれた当館所蔵の「天川村絵図」を活用しました。児童にとって身近な場所が描かれている絵図を活用したことで、児童自身が昔から変わらないうちにある川や道、お寺に気づくなど、興味を持ちながら説明を聞くことができました。

次の活動「館内見学」では、普段は入ることができない書庫や作業室、地下の機械室等の案内・解説を行いました。児童たちは、外からでは分からない地下室や、電動で動く書棚、カードキーで開く扉など、見慣れない設備や史料を見るたびに、感嘆の声を上げながら見学していました。

最後の「歴史学習体験」では、約5m四方で江戸時代に描かれ、現在の群馬県全図に相等する「元禄上野国絵図」の複製マップの上に乗る、当時の群馬の様子を足下に眺めていきました。大きな絵図に驚きながらも、自分たちの「天川」を探してみたり、上毛カルタの名所を見つけたりと、「大きな昔の群馬県」の上で楽しく活動する姿が印象的でした。

今回の学習協力では、学習のねらいに

沿って、児童の興味関心を高めるために効果的な史料活用・学習活動ができたと感じています。それは、天川小学校の先生方と細かな事前打ち合わせが行えたことが大きな要因であったと考えます。今後の授業協力においても、学校側と当方での連絡・共通理解を重要視し、効果的な学習活動が進められるようにしていきたいと考えています。

研修視察（県立図書館職員）

○県立図書館職員が研修で来館

1月26日（木）に県立図書館の職員17名が、研修のため当館へ見学に來られました。図書館では高度な質問にも対応できる専門性を備えた職員の育成に取り組んでおられ、レファレンス業務の中で利用者に当館の収蔵資料を紹介することも多いのだそうです。当館としても、より多くの利用者をお迎えする上で、図書館職員の方々に当館へのご理解を深めていただくことは重要なことと考え、当日は収蔵資料や閲覧方法をはじめとして当館の機能について2時間しっかりとご案内させていただきました。

報道関係（NHK）

平成28年11月17日に放送されたNHKファミリーヒストリーで、藤岡市出身で「ぐんま大使」の中山秀征さんのル

ーツが当館所蔵史料を使いながら紹介されました。番組では、明治初年の壬申地券地引絵図に中山さんのご先祖が住所地村の地図作成者の一人として掲載されていたことと、土地の権利者として記載があったことが取り上げられました。当館には、県内のほとんどの地域の地引絵図が所蔵されており、当時の土地の利用形態などを読みとることができません。神社や寺院などは現在と比較的同じ場所などといったことがご覧いただけます。故郷再発見に役立つ資料としても期待されます。なお、ご利用はマイクロフィルムの映像をディスプレイに表示してご覧いただく方式となっております。コピー印刷もできますので、どうぞご利用ください。

新たに収集した

公文書

管理受任等 平成27年度に管理受任、引継により県の各機関から受け入れた文書は、808冊でした。

(詳細は表1のとおり)

収集 平成27年度の文書整理において県庁各所属が廃棄した文書資料の中から、文書館が歴史資料として収集したものは1809冊でした。

(詳細は表2のとおり。なお、表中「管

表1 平成27年度管理受任文書の課室別冊数

課室名	冊数	課室名	冊数	課室名	冊数
管財課	9	医務課	26	産業人材育成課	69
学事法制課	41	介護高齢課	30	道路管理課	183
税務課	14	林政課	81	河川課	37
消防保安課	29	森林保全課	16	都市計画課	133
地域政策課	8	農業経済課	4		
スポーツ振興課	8	蚕糸園芸課	17	知事部局合計	769
健康福祉課	2	農村整備課	3	文化財保護課	39
保健予防課	16	産業政策課	2	教育委員会合計	39
障害政策課	16	商政課	13		
薬務課	9	労働政策課	3	総計	808

表2 平成27年度収集文書の部局別冊数

部局名	冊数	部局名	冊数
総務部	62	県土整備部	264
企画部	96	会計局	3
生活文化スポーツ部	37	議会事務局	46
健康福祉部	191	労働委員会事務局	4
環境森林部	225	教育委員会事務局	227
農政部	102	(管理委任解除)	499
産業経済部	53	合計	1,809

理委任解除」とは、保存期間が満了し、管理委任を解除された文書から収集したものの。(参考)

平成26年度の状態
 ・管理受任等 1051冊
 ・収集 1922冊

新たに収集した

古文書

◎前橋市富士見町山口自治会文書

山口自治会に伝わる近世く近現代文書、約500点。元禄2年の勢多郡山口村・一之木場村の水帳・新田水帳、宝永8年の両村の新田水帳を含む。(寄託)

◎東京都・井上善平家文書

前橋市桑町(現千代田町)で定飛脚「嶋屋」の取次を営んでいたという井上家に伝来した文書2点。全国の街道沿いの地名や上野国内各地への運賃などを書き上げた帳簿、幕末期の「武鑑」を含む。(寄託)

新たに公開した

古文書

◎前橋市・木村善一家文書

群馬郡高井村(現前橋市元総社町)の木村家に伝来した文書群。寛永8年の井

伊兵部少輔宛老中連署状を始めとする近世文書、碓氷社惣社組関係資料を含む近現代文書から成る。

924点(P9102)
 ◎前橋市・笹本義美氏収集文書
 笹本氏が収集した文書群。勢多郡中通不動堂村(前橋市富士見町時沢)の近世文書、幡羅郡間々田村(現埼玉県熊谷市)の近世く近現代文書などを含む。

91点(P1502)

◎藤岡市・塚越篤江家文書(第2次)

藤岡市の塚越家に伝わる文書群。今回は、近世文書2点(多胡郡本郷村宗門人別帳、多胡郡池村の年貢割付状)と近現代文書16点を公開。18点(P09001)

◎前橋市・岩佐昭雄家文書

前橋市天川原町の岩佐家に伝来した江戸時代の旧天川原村関係の名主文書であったと推定される検地帳3冊と明治時代以降の刊本類及び同家の公私に関わる文書の合計91点からなる。

91点(P00001)

◎沼田市・金子正宏氏収集文書

金子氏が収集した文書群。利根郡川場地区周辺文書(湯原今井家文書・生品唐品家文書)、利根郡昭和村旧森下村文書(真下家)、利根郡立岩村・沼須村文書を含む。2957点(P0504)

◎高崎市・長井進氏収集文書

西毛文化史学会の主宰であった長井

氏が収集した文書群。上野国分寺関係の瓦の拓本、江戸時代以降の出版本や手習本などの写本、第二次世界大戦後の歴史や美術関係のパンフレットなど多岐にわたる。 472点（P01210）

文書館公式Facebookの開設

2月15日から文書館公式Facebookページを開設しました。昨年7月に開催した文書館運営協議会で、委員の方々からSNSによる情報発信に強い要望が寄せられていたものです。このFacebookページからは、展示会や講座の開催、群馬県の公文書や古文書の新規公開、収蔵資料の紹介や新たな発見、そのほかのお知らせや出来事などを発信していきますので、どうぞご期待ください。



文書館の仕事 公文書編

文書館にはこんな仕事もあります。「もんじょかん」という呼称だとイメージは古文書の古めかしいものを所蔵しているという感じをもたれるのが普通だと思います。実は、文書館では、県庁で現在発生している行政文書を毎年収集して保存しています。例年6月～7月に文書整理期間が設定され、保存期間が満了する文書を中心に保存整理をしています。当館で保存する文書は、燻蒸処理後に温湿度管理された書庫に収蔵しています。毎年累積で文書は増加しますので、書庫の残リスペースが徐々に減少している状況です。職業体験の中学生の生徒から素朴な質問をいただきました。文書館の書庫はあと何年で一杯になるのですかという内容でした。当館で文書の廃棄をすることはまず無いという前提で、毎年の収蔵が続くと飽和状態が訪れることは間違いないというのが本当のところですね。当館も過去に書庫の増設工事を実施しています。将来への展望として文書の収蔵場所として書庫の増設は必至です。行政とは、書類を仕事の証として作るものなんですなとしみじみ思います。行政文書は、単に従事する職員のものではなく、住民の方、全体の共有財産であるという認識で作成時から

意識して、さらには後世へのメッセージとして保存管理を心がけています。もちろん、知る人ぞ知る古文書系の現物史料もごさいます。当館の前身が『群馬県史』の編さんに携わっていたことから、当時収集した資料も併せ、郷土群馬県のルーツに接するものを所蔵していますので、それらは整理ができた第順次公開を予定です。



デジタルアーカイブズ・ ビューワーの設置

当館では、これまで壬申地券地引絵図をはじめとする大型絵図について、マイクروفイルムで閲覧していただいておりますが、一部デジタル画像に変換したもののについて、このたびデジタルアーカイブズ・ビューワーにてご覧頂けるようになりました。閲覧室に専用の端末を用意してありますので、ぜひご利用ください。画像の拡大や回転など、従来のマイクروفイルムより簡便な操作で利用いただけます。さらにデジタルアーカイブズ・ビューワーの設置により、従来白黒のみの印刷でしたが、今回カラーで印刷できるようにになりました。（カラー印刷料金40円）

なお、平成29年度の事業により、マイクروفイルム撮影が済んでいる大型絵図については、全てデジタル化する予定です。デジタル化が済み次第、順次デジタル



アーカイブズ・ビューワーに搭載していき
ます。

また、将来的には、インターネット上
で大型絵図が閲覧できるような取り組
みも進めていきたいと考えています。

閲覧室かわら版 くその2 く

○初めて閲覧室を利用される方へ

「利用券」を発行するので、身分の証
明になるものをご持参の上、利用登録
手続きをお願いします。

○資料の閲覧方法

閲覧したい資料を検索システムで
検索し、「文書閲覧票」に記入しカウ
ンターの職員に提出してください。

職員が文書を書庫から取り出してま
いります。なお、検索システムはイン
ターネットでも提供しており、検索結
果から「文書閲覧票」を出力すること
もできます。ご自宅で閲覧票を用意し
て来られれば、閲覧もスムーズです。

○資料の複写をご希望の方へ

コピーと撮影ができます。コピーは
カウンターの職員に申し出ていただ
ければ、1枚20円（モノクロ）で職
員がコピーをします。撮影はカメラを
ご持参の上、ご自身で撮影台を利用し
て撮影してください。撮影は無料です。

平成28年度新規公開文書展「近世
の酒造・水車・修験ほか」の開催

今回は、平成28年度に当館が閲覧公開
した17件・8971点の古文書と群馬県
行政文書の中から計25点の史料を選
び、1期（3月4日～5月7日）と2期（5月
13日～7月9日）に分けて展示しています。

阿久澤順一家文書は、洪川市吹屋の同
家に伝来した1100点余の文書群で
す。江戸中期から明治・大正期にかけて
の①吹屋村等の村政文書、②鋳物業など
の阿久澤家私的文書で構成されていま
す。今回、①の中の大型絵図2点が、原
本撮影のマイクロフィルムで閲覧可能
となりました。笹本義美氏収集文書は、
平成27年度寄託の91点の文書群です。
勢多郡不動堂村（現前橋市富士見町）の
近世文書のうち、今回は酒造業、水車の
設置、鉄炮所持改め、不動堂村議定の文
書を展示しています。長見寺文書は、前
橋市大友町の同寺から寄託された16
80点余の文書群です。同寺は、かつて
東学院と号し、戦国期は領主の総社長尾
氏の祈願所でした。江戸時代初めに寺号
を長見寺と改め、修験道本山派の京都聖
護院の末寺となり、上野国の年行事職を
務めました。今回は、長見寺などの修験
道関係文書を展示しています。岩佐昭雄

家文書は、平成12年に寄託された91点
の文書群です。群馬郡天川原村（現前橋
市）の享保年間の検地帳3点があり、こ
のうちの2点を1・2期に分けて展示し
ています。

旧県立社会教育館文書は、平成17年、
群馬県立社会教育館が富岡市に移管さ
れた際に、歴史的史料として当館が収集
した文書・図面・アルバム等の文書群で
す。前身の東国敬神道場、群馬県公民会
館などの史料を展示しています。

《展示史料紹介》

左の文書は、川越藩前橋分領上細井村
（現前橋市上細井町）役人から北隣の不
動堂村名主宛に出された文書です。上細
井村の三郎兵衛が新設する水車につい
て、上流の不動堂村雁俣堰（かりまたせ
き）を操作させません、もし操作したな
らば三郎兵衛に水車を止めさせます、と
いう内容です。



一札之事
(安永8年2月、P1502 No.21)

今後の行事予定

★展示

●新規公開文書展

「近世の酒造・水車・修験ほか」

1期…3月4日（土）～5月7日（日）

2期…5月13日（土）～7月9日（日）

※春季特別整理休館をはさみ1期と2
期で一部展示史料の入れ替えを行いま
す。なお、展示室では、常設展「文書館
の仕事」も行っていきます。

●テーマ展示1

7月22日（土）～9月29日（金）

★講座

●古文書入門講座（土曜日…全5回）

6月3日～7月1日

午前10時～正午、定員60人（未受講者

優先）テキスト代1000円

※申込期間は4月17日（月）～5月12日

（金）**必着**

●長期古文書講座（土曜日…全12回）

8月26日～12月2日

●第1回ぐんま史料講座（日程未定）

※詳細は文書館HPをご覧ください

発行／群馬県立文書館

<http://www.archives.pref.gunma.jp>

題字／岡庭征人書